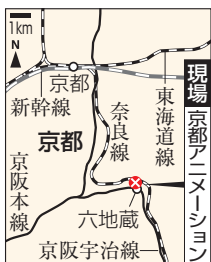


電子号外は岩手日報ホームページ(<https://www.iwate-np.co.jp/>)でもご覧になれます。



煙を上げるアニメ制作会社「京都アニメーション」のスタジオ＝18日午前11時36分、京都市伏見区（共同通信社ヘリから）



## 京都・アニメ会社 複数意識不明 41歳男「液体まいた」

# スタジオ放火1人死亡

18日午前10時35分ごろ、アニメ制作会社「京都アニメーション」

（本社・京都府宇治市）の京都市伏見区にあるスタジオから「黒煙が上がっている」と、近くの住民から119番があった。市消防局によると、少なくとも38人がけがをし、10人が重傷。このうち1人が死亡、数人が意識不明となった。3階建ての建物が燃えており、消火活動を進めている。

府警によると、18日午前10時半ごろ、男がスタジオに入ってきて、ガソリンのような液体をまき火

を付けた。男は41歳で「ガソリンのような液体をまき、火を付けた」という趣旨の話をし、負傷し市内の病院に搬送されている。府警が放火の疑いで調べている。

京都アニメーションによると、燃えたのはアニメ制作の現場の第1スタジオ。

公式サイトによると、京都アニメーションは1981年創業。宇治市と京都市にスタジオを構える。2000年代には、テレビアニメ「涼宮ハルヒの憂鬱」<sup>ゆううつ</sup>、「らき☆すた」、「けいおん！」などが大ヒットした。出版事業や制作スタッフの養成事業にも進出している。